


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成27年 5月31日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第2号	質問議員	12番	渡辺 良孝 
件名	1.地方創生へ繋げる広域幹線道路計画の策定を 2.世附キャンプセンター跡地の活用を			
要 旨				
<p>1. 国では、平成26年度に地方創生の一環として地方自治体を支援するため「地方創生先行型」交付金1344億円の交付を決めた。これは観光・産業振興や人材育成が対象になっている。そこで当町では、今年の3月議会で、1市4町によるプレミアム商品券発行事業、山北町人口ビジョン・総合戦略策定事業を始め、山北駅北側小さな拠点づくり事業等を含め7つの事業の補正予算を計上した。「新規事業を立案する時間がなかった」と多くの自治体から不満が報道される中、短期的にはこの事業の推進・実現に期待するところである。特に、山北駅北側小さな拠点づくり事業は、地方創生の的を得た事業として高く評価をされている。そのような状況の中、中央へのパイプとなる新東名高速道路に係る(仮)山北スマートICの設置決定を契機に、中長期的には、幹線道路計画や周辺を絡めた計画を示していくことが、国の提唱する地方創生施策に繋がっていくのではないかと思います質問をします。</p> <p>1) 平成25年の町議会から県知事へのスマートIC設置要望の中で、富士箱根伊豆交流圏を踏まえた(仮)小田原・甲府線整備計画を出している。地方版総合戦略に、かつての南北広域連携軸としての広域幹線道路整備計画を具体的に示していくべきではないか。そして関連して(仮)山北スマートIC周辺活性化計画(仮称)を策定し、国を始め関係機関との交渉・要望に対応していくべきではないか。</p> <p>2) 神奈川県では、南足柄から箱根へ繋げる「南箱道路」を東京オリンピック・パラリンピック開催時まで間に合わせる計画である。合わせて</p>				

新東名高速道路の完成は平成33年で、オリンピックの翌年が予定されている。そのようなことから、今後、(仮)山北スマートICから箱根へ繋がるルートは、観光振興・地域振興に大きく期待されてくると思う。足柄地域と箱根へ繋がる県道が整備されると、箱根町とは違った歴史的背景のある河村城跡のみならず、県指定名勝である「洒水の滝」等のネットワーク化が図られるので、回遊性を持った観光施策を策定すべきである。

2. 山北町立世附キャンプセンターが閉鎖となった。この施設は三保ダム建設時点の地域振興策として県企業庁から土地を借用し、世附方面の活性化を目指し青少年のキャンプを目的につくられた施設である。廃止の理由は、過去の大型台風による水源地の大幅な崩落のため水源を維持できなくなったとのことである。

私が26年6月議会で、山北・山中湖線(水の木幹線)林道の改修の一般質問を行った。当初は改修の目途が立たないとのことであったが、町では早急に県知事に、そして県が国に要望した結果、平成28年度中に林野庁で改修を行うとのことである。このことは、閉塞的であった世附川沿いに光が差ししてきたと思っている。今後不老山へのハイキングコースの復活、更に山中湖への林道の整備が期待できるそのような時、世附キャンプセンターが閉鎖になったことは非常に残念である。世附キャンプセンターは山中湖へ繋がる拠点であり、三保ダム建設時点の理念である研修ゾーンとしての環境は今でも保たれている。そのような経過の中、通信制高等学校の三保中学校施設の利用が具体化してきた。今後、跡地は、新たな水源を確保(井戸を掘るなど)し、時代の流れに沿った音楽・スポーツ合宿や、青少年の受け入れ施設として、活用していくべきではないか。